

令和3年度 第1回野洲市学童保育所運営協議会 会議録

- I 日 時 令和3年7月6日(火) 19:00~20:10
- II 場 所 中主防災コミュニティセンター 研修室A・B
- III 出席者 〈運営委員〉
河原 めぐみ、馬場 ゆう子、大林 由梨佳、年見 芳子、山本 雅一
(以上保護者会会長)
神山 良晴(市自治連合会)、浦谷 ふみ子(市民生委員児童委員協議会)
田中 源吾(市健康福祉部政策監)、遠藤 伊久也(社会福祉協議会事務局長)
上田 眞弓、西村 幸雄、梶谷 明美、杉本 邦子、太田 千鶴
(以上学童保育所所長)
〈事務局〉
立入 幸基(社会福祉協議会会長)、水谷 威彦(事務局次長)
益田 研(学童保育課課長)
〈市健康福祉部〉
西村 一嘉(こども課課長)、本田 和久(こども課主幹)
- IV 欠席者 立田 裕子、上垣 暢子

【内容】

- 1 委嘱状交付 野洲市社会福祉協議会 会長 より 河原 めぐみ 氏へ委員を代表して交付
- 2 野洲市社会福祉協議会立入会長あいさつ ・出席者自己紹介
- 3 会長・副会長の選出について協議の結果、次のとおりとなりました。
会 長 神山 良晴 氏 ・ 副会長 杉本 邦子 氏
- 4 報告事項

(1) 令和3年度「野洲市学童保育所入所児童の状況」について

事務局 運営協議会資料1-①～1-⑤

資料1-① 野洲市学童保育所児童数推移

今年度(令和3年度)含め、過去5年間の推移を小学校と学童保育所の児童数を5月1日現在を基準として一覧としている。

平成29年度 小学校児童数3,039名に対して学童保育所児童数953名で在籍率31.4%。
令和2年度は小学校児童数2,991名に対して学童保育所児童数が1,066名と在籍率にして35.6%となる。

今年度は、学童保育所の児童数が前年と比べ減少したが、合計1,000名を超える利用と在籍率も34.8%と3人に1人以上の児童が学童保育所を利用している状態である。

下段に年度ごとの学童保育所開設数と定員を表しており、平成29年度に野洲第7学童保育所を開所し市内23学童保育所運営、令和2年度は篠原第2学童保育所を開所し、24学童保育所(定員1,055名)で推移しており、現在は市内施設定員1,055名に対して在籍児童1,027名で利用率は97.3%である。

資料 1-②

5年間の児童数の増減を学区ごとに表す。

平成29年と今年度(令和3年度)の対比を、小学校と学童保育所の児童数の増減を学区ごとにグラフ表示している。

| | | |
|-----|---------|------------|
| 中主小 | 716→641 | ▲75 (△34) |
| 篠原小 | 161→174 | +13 (+9) |
| 祇王小 | 565→503 | ▲62 (△12) |
| 三上小 | 217→180 | ▲37 (△3) |
| 野洲小 | 843→788 | ▲55 (+42) |
| 北野小 | 537→666 | +129 (+72) |

- ・5年間で市内小学校児童数は、87名減少、対して学童保育所の児童数は74名増加。
- ・小学校児童数の増減と同じく学童保育所の児童数も増減、但し野洲小学校校区は小学校児童数が減少も学童保育所の児童数は増加している。
- ・北野小学校校区は、小学校児童数129名増、学童保育所も72名増と大幅な増加が見られる学区である。

資料 1-③ 在籍報告(2021年5月)

2021年(令和3年)5月1日現在の在籍児童を学童保育所別に表す。

各学童保育所の定員、学年別の在籍数(内数で季節保育児童数)を一覧にしており、在籍児童合計で1,027名、通年児童は822名である。

昨年と比較して在籍児童数は39名減も通年利用の児童数は46名増加している。

(全在籍児童の内、通年児童の割合は80.4%)

小学校区ごとに複数の学童保育所を運営しており、それぞれ学年や男女、保育区別の児童数を勘案してクラス分けをしている。

学年別で1年生は53.1%、2年生は47.3%、3.4年生で34.9%、5.6年生で20.8%の在籍率となっている。

資料 1-④ 令和2年度 学童保育所「土曜保育」状況

平成30年度から新たな事業として「土曜保育」を実施し、今年度で4年目を迎える。

昨年度(令和2年度)は、土曜日に50日開所。

開所日ごとの登録児童数を表しており、年間延べ1,859名の利用で、1日平均37.2名の利用登録があった。

令和元年度との比較で、利用児童が年間延べ50名増加した。

資料 1-⑤ 「野洲市学童保育所」業務に関する事故や災害等の緊急事態の有無

児童の怪我・事故の状況 スポーツ安全保険適用件数(病院等受診)の推移。

令和2年度発生件数19件 月別では4.5月、学年別では1.2年生の発生が多い。

職員労働災害発生状況 令和2年度は4件発生している。

以上資料 1-①～1-⑤をもとに、野洲市内学童保育所の状況の説明とする。

(2) 学童保育所「夏季保育の予定」について

資料2 学童保育所夏季保育の予定

今年度の小学校夏季休業期間(夏休み期間)は、昨年度に続き「新型コロナウイルス感染症」対策しながらの保育になる。昨年は、4月全国に発出された「緊急事態宣言」により小学校の臨時休業あり、そのため小学校の夏休み期間が大幅に短縮(2週間)される。今年はコロナ過が続く中、通常期間(7/20~8/27)で迎える初めての夏季保育になる。

感染症対策を実施しながら、長い夏休み期間をこども達にとって充実した生活にするための対策として、

感染症対策の継続

- ・健康観察の実施 健康観察表を使用して、児童の健康観察を毎日行う。
- ・マスクの着用 熱中症対策もあり柔軟に対応するが、食事時を除き基本的にマスクは着用する。
- ・感染防止上、保育室への立ち入りは、児童及び指導員に限定する。

保育内容の工夫

- ・集団活動の規模 学年、クラス単位など集団規模を縮小して活動する。
- ・野外活動の制限 大型バス等を利用しての遠足等は取り止める。
外出についても活動場所と範囲を限定して実施する。
- ・ボランティア依頼 感染症対策の協力が得られる個人、団体に限り許可する。

以上、感染対策を踏まて、夏季保育を計画していることを説明する。

委員

夏休みの行事について

祇王では、例年、全所合同で行う大きな行事として、「祇王シネマ」という名前のDVD鑑賞会、「全所カロム大会」「夏祭り」の3つがあります。しかし、昨年度からは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、「全所カロム大会」以外の全所合同での行事は行っておりません。ただ、夏休みの恒例行事なので、取り止めるのではなく、規模を縮小するなど工夫して、各所又は各フロアで継続して実施しています。日程や内容は各所に任せていますが、いつかまた全所合同で実施出来る時のために、名前だけは残しておこうと決めています。

全所合同で実施している「全所カロム大会」については、各所で事前に予選を行い、予選を勝ち抜いた代表者だけが決勝戦に進める形にしているため、全所合同とは言うても一同に会する参加者は20名前後になっています。決勝戦の会場は、現在は閉所している祇王第2学童を使用するので、どこかの所に移動してもらうなどの負担を掛けることなく、実施することが出来ています。参加する子どもたちにとっては、「決勝に進んで第2学童に行くぞ」という1つの目標になっており、人気の高い行事になっています。

今年の夏から、コミセンぎおうが大規模改修をされるのでお借りすることが出来ませんが、閉所している祇王第2学童保育所を有効活用しながら、暑い夏を乗り切ろうと思っています。

以上 説明といたします。

委員

夏休みの予定について

北野では、7月18日(日)にコミセンきたのにて夏祭りを開催します。

本来、この日は「コミセンきたの夏祭り」が予定されていましたが、コロナ過で昨年に続き中止となりました。コミセンより全館抑えておいて他の団体には貸し出ししていないため、使用するなら全部の部屋を使っていっていいと言っていました。

北野第1~4学童保育所の児童は全所で200名を超えています。

一斉に実施するのではなく、50名のグループを午前と午後に分けて2グループ、4班に分けて少人数で行います。保護者会役員とコミセン職員の協力も得て、活動前に施設の消毒・受付での検温、手指の消毒など感染対策を徹底します。

実際の内容も200名定員の大ホールに25名が入って間隔をあけてのヨーヨー釣り・スーパーボールすくいなど。

2階研修室と会議室、和室では定員120名のところに25名が入ってクイズラリーをする予定をしています。廊下や順番待ちの列には、床にテープを貼って間隔をあけて待つようにします。

消毒作業のため待ち時間が多く発生した昨年の反省を生かし、今年は内容を変更しました。北野小学校のグラウンドや体育館で実施されているスポーツ少年団の子ども達も自分の参加する時間帯になったら練習を抜けてコーチに送迎してもらいながら参加するなど多くの子ども達が参加します。

感染対策を徹底した上で、安全で楽しい夏の思い出にしたいです。

また、北野第1-4学童保育所では、30年もの長きにわたり、高学年児童の力を発揮する行事として「おばけやしき」を恒例行事としてきました。

毎年、高学年会議を開いて行事について話し合っています。その年の子ども達の声を大切にしながら今まで続けてきた取り組みです。

希望ヶ丘青年の城・体育館・コミセン・生活室など場所は変わってきましたが、昨年度からは高学年の分割保育でお借りしている小学校の音楽室で実施しています。

コロナ過より、部屋を真っ暗にしての「おばけやしき」ではなく、換気のために窓を開けて明るい中での「おばけやしき」として、6年生が工夫を凝らして作成したおばけなどの展示品や自ら扮装しておばけになりきっての案内などを行いました。

明るい部屋、大声で驚かすこともできないのですが、クオリティーの高い作品に泣き出す子もいます。学童保育所の子ども達だけでなく、地域の民生委員や小学校の校長先生をはじめ全員の先生方が来てくださいました。

今年も音楽室だけでなく、プレイルームも貸していただくなど小学校の先生方の協力をいただいております。

あくまで主役は高学年児童なので、これから夏休み期間に話し合いながら準備し、安全で楽しい活動としていくつもりです。

以上、主な夏休みの行事予定についての説明とします。

(3) 学童保育所児童の福祉・体験活動について

事務局 運営協議会資料3

資料3 学童保育所児童の福祉体験活動

社会福祉協議会の取組みとして、「子ども達への福祉教育」があり、学童保育所事業では、その事業の一環として、児童が地域福祉活動やボランティア活動に参加できる機会を作ることを役割としている。

小学校や家庭では経験できない体験の場を通じて、児童が地域活動を知る、福祉体験を通して福祉について考える機会を作る、児童の活動を地域に紹介するなどの目的でも事業を計画し実施してきた。

学童保育所での福祉活動や地域行事参加などの体験活動について紹介する。

まず、昨年度（令和2年度）は、以下の活動を実施した。

- 4月 地域行事への児童参加「兵主まつりこいのぼり製作(中主学童保育所児童)」
- 9月 Honda Cars 職業体験(北野学童保育所児童)
- 1月 野洲青年会議所事業のためのアンケート調査協力(市内4.5.6年生児童)

2月 特別養護老人ホーム「ぎおうの里」児童作品の展示(祇王学童保育所)

また、新型コロナウイルスの影響で昨年度は延期または中止した行事として

- ・共同募金運動街頭啓発活動への児童参加
 - 赤い羽根共同募金(10月)と歳末たすけあい募金(12月)
- ・地域行事への児童参加
 - コミセンきたの祭り(北野学童保育所児童)
 - ぎおう大収穫祭(祇王学童保育所児童)
 - 悠紀祭り(三上学童保育所児童)
 - トレトレ祭り(篠原学童保育所児童)
- ・地元企業ボランティア活動への協力(オムロン野洲事業所訪問)
- ・地元事業所での職場体験(野洲病院職場体験「病院のはてまでおいでYASU」)
- ・防災探検隊(防災マップ作り)
- ・就労継続支援B型作業所との交流

があり、また運営協議会(平成25年)の提言を受けて行っている児童交流事業も昨年度は中止とした。

多くの活動について中止や延期となる中で、今年度は新しい取り組みとして「ぎおうの里」での児童作品展示による児童と利用者との交流を始めた。

「ぎおうの里」よりロビー展示する作品を提供してもらえるボランティア等がないかとの相談を受け、市内学童保育所と調整し、各学童保育所から交代で作品展示を開始した。5月に作品提供した「北野第1-4学童保育所」に向け、「ぎおうの里」から施設紹介を兼ねたお礼のパネルを預かり、現在学童保育所で展示している。

コロナ過、直接施設訪問することが難しい中、作品やお互いの様子、お礼の手紙なども用いてつながり、お互いを知り合う機会にしたい。

高齢者施設と地域の連携から福祉学習への展開を図る目的で取り組んでいる。

5月に施設展示した子ども達の作品と施設紹介のパネル、受け取ったパネルを展示している様子、また子ども達のお礼の手紙などを写真にまとめたので紹介する。

以上、学童保育所児童の福祉・体験活動についての説明とする。

(4) その他について

事務局 次回の日程について

日程が決まり次第、委員の皆様へ連絡する。

今年度、3回開催を予定しているので、案内の際はご参加いただくようお願いする。

